

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	帝京短期大学
設置者名	学校法人 沖永学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
生活科学科	生活科学専攻 生活文化コース	夜・通信			11	11	7	
	生活科学専攻 養護教諭コース	夜・通信			20	20	7	
	食物栄養専攻	夜・通信			10	10	7	
こども教育学科	こども教育専攻	夜・通信			13	13	7	
ライフケア学科	臨床検査専攻	夜・通信			21	21	10	
	柔道整復専攻	夜・通信			15	15	10	
	柔道整復専攻 (二部)	夜・通信			15	15	10	
専攻科	臨床工学専攻	夜・通信			19	19	4	
	養護教諭専攻	夜・通信			18	18	7	
こども教育学科	こども教育専攻 通信教育課程	夜・通信			19	19	10	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/jitumu.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 無
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	帝京短期大学
設置者名	学校法人 冲永学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/kl.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医科大学教授 大学付属病院副院長	2020.3.22 ～ 2024.3.21	学校法人の運営管 理全般
非常勤	大学教授	2020.3.22 ～ 2024.3.21	学校法人の運営管 理全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	帝京短期大学
設置者名	学校法人 冲永学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>・授業計画書(シラバス)の作成は、毎年11月頃に作成を依頼している。科目担当教員作成後、専攻・コースの専任教員および事務担当の第三者チェックを全学科で実施。3月に通学課程はWEBシラバス、通信課程は講義要項として完成。4月にWEBポータルサイトとホームページにて公表し、通信課程はさらに配付も行っている。シラバスの記載内容は、授業形態、授業計画、授業の概要、担当教員の実務経験と当該授業との関連、授業の目的、到達目標、準備学習(予習・復習)、成績評価の方法・基準を明記し、学生の履修登録、授業履修計画、授業の予習・復習等に活用できるよう、具体的かつ明確に記載している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>帝京短期大学 HP</p> <p>(通学) http://info.teikyo-jc.ac.jp/syllabus/</p> <p>(通信) http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/tsushin-s.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>・授業科目の単位は、学則及び履修規程に基づき、学修成果を厳格かつ適正に評価し、認定している。</p> <p>(通学課程)</p> <p>成績評価の基準は、全学的に統一した基準としている。具体的な成績評価の方法は、「筆記試験、実技試験、レポート、口述試験、学習成果物」の併用(履修規程第14条)に基づき、各授業科目担当者がシラバスに具体的に記載している。</p> <p>(通信課程)</p> <p>シラバス等にあらかじめ示された、当該科目の評価方法によって評価する。(通信教育課程履修規定第14条)</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・成績評価においては、客観的な指標としてGPA制度を導入しており、その具体的な内容、指標の算出方法は、学生便覧、ホームページで公表している。成績は、シラバス(講義要項)にあらかじめ示された当該科目の評価方法によって、</p>	

評価している。60 点以上を合格とし、合格した科目には所定の単位が与えている。成績評価の基準及び評価表示は以下のとおり。

判定	評価	評点	GP
合格	S	100～90 点	4.0
	A	89～80 点	3.0
	B	79～70 点	2.0
	C	69～60 点	1.0
不合格	不可	59 点以下	0.0
	欠席	—	0.0
	無資格	—	0.0
GP 対象外	認定	—	—
	中止	—	—

評価に対し、それぞれグレードポイントを与え、これに各科目の単位数を掛け合わせ、その総和を履修総単位数で割った値が GPA の数値となる。不合格の科目の GP は、0 ポイントとして計算している。また、当該学期の GPA が 0.8 未満の学生には、学科長又は担任教員から口頭での指導がある。さらに、当該年度の 2 期連続 GPA が 0.8 未満かつ年度累積 GPA が 0.8 未満で、学習意欲が認められないと判断された場合には、退学勧告をすることがある。

GPA の算出方法

・計算式

$$\text{GPA} = \frac{\text{(当該科目の単位数} \times \text{履修科目の GP) の総和}}{\text{GPA 算出対象科目の履修総単位数}}$$

・算出例

科目	単位数	成績	GP	単位数×GP
英語 I	1 単位	A	3	1×3=3
化学	2 単位	S	4	2×4=8
生物学	2 単位	C	1	2×1=2
食品学実験	1 単位	無資格	0	1×0=0
基礎栄養学	2 単位	不可	0	2×0=0
合計	8 単位			13

$$\text{GPA} = 13 \div 8 = 1.63 \text{ (小数点第 2 位を四捨五入)}$$

GPA 算出の対象科目は、他大学等で修得した科目を本学の単位として認定した科目、中止した科目、その他科目（ただし教職科目は含む）以外の科目となる。また、各専攻・コースの成績の分布状況等を把握するため、授業科目ごとの成績評価分布や学年別成績評価分布の結果を共有し、専攻・コースごとの教育課程の改善に努めている。

<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/j3.pdf http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/kyakkan.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマポリシーを定め、学生便覧、ホームページで公表している。卒業判定の際には、その専攻ごとのディプロマポリシーを踏まえ、卒業要件に基づいて各専攻の卒業判定会議にて審議した上、教授会の議を経て決定している。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/d-policy.pdf</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	帝京短期大学
設置者名	学校法人 沖永学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/j6_2020.pdf
収支計算書又は損益計算書	帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/j9_2020.pdf
財産目録	帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/j5_2020.pdf
事業報告書	帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/j11_2020.pdf
監事による監査報告(書)	帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/j13_2020.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2021年度事業計画)	対象年度:2021年度)
公表方法:帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/j12_2021.pdf 公表方法:	
中長期計画(名称:中長期計画)	対象年度:2018~2022年度)
公表方法:帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/plan_h29.pdf	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/jikoten2019.pdf
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/certification/ninsyoukekka2020.pdf
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 生活科学科、こども教育学科、ライフケア学科、 専攻科 臨床工学専攻、専攻科 養護教諭専攻
教育研究上の目的（公表方法：学生便覧 帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/jl.pdf ）
（概要）本学の各学科・専攻及び、各専攻科の教育目的は次のとおりとする。
1. 生活科学科 生活科学科は、本学の建学の精神に則って、家庭生活のみならず社会生活においても時代にふさわしい人材を育成することを目的とする。 (1)生活科学専攻の目的は次のとおりとする。 生活科学専攻は、建学の精神及び生活科学科の目的に則り、家庭生活や社会生活に有用な人格・知識・技能を持った人材を育成することを目的とする。 (2)食物栄養専攻の目的は次のとおりとする。 食物栄養専攻は、建学の精神及び生活科学科の目的に則り、栄養士に必要な専門知識を修得し、これを実践面で活用できる社会人、及び地域・産業保健、医療、学校等を通じて健康な食生活を支援できる人材を育成することを目的とする。
2. こども教育学科 こども教育学科は、本学の建学の精神に則って、地域社会に貢献できる質の高い保育者を養成することを目的とする。
3. ライフケア学科 ライフケア学科は、本学の建学の精神に則って、医療に従事する優れた人材を養成するとともに、人格的、衛生的、社会的に有用な人材の育成を目的とする。 (1)柔道整復専攻の目的は次のとおりとする。 柔道整復専攻は、建学の精神及びライフケア学科の目的に則り、優れた柔道整復師を養成するとともに、専門的能力や技能を発揮できる、人間性豊かな人材の育成を目的とする。 (2)臨床検査専攻の目的は次のとおりとする。 臨床検査専攻は、建学の精神及びライフケア学科の目的に則り、優れた臨床検査技師を養成するとともに、専門的能力や技能を発揮できる、人間性豊かな人材の育成を目的とする。
4. 専攻科 臨床工学専攻 専攻科臨床工学専攻は、医学と工学の知識および技能が必要とされる。また、生命維持管理装置や医療機器の操作・保守管理の知識および技能も必要となる。専攻科臨床工学専攻では医・工両方の知識と技能を持ち合わせた人間性豊かな医療人の育成を目的とする。
5. 専攻科 養護教諭専攻 専攻科養護教諭専攻は、本科で培われた「建学の精神」を基礎に教育者として社会的責任を自覚し、生涯にわたり自己教育ができる能力と資質を養う。さらに、養護教諭として今日、学校現場で生じている様々な子どもたちの健康課題を踏まえ、それらに適切に対応できるより専門的な知識と技術、実践力を育て、学校保健活動の中核的役割が果たせるような力をつけることを目的とする。

卒業の認定に関する方針（公表方法：学生便覧 帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/d-policy.pdf）

（概要） ディプロマポリシー

1. 生活科学科

【生活科学専攻】【食物栄養専攻】

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神及び教育理念を踏まえ、家庭生活のみならず社会の中で時代にふさわしい人材として活躍できる力を育成することを目標としています。また、今日的な課題である自立した社会生活を営める能力を養うことを目指しています。そのために、生活に関する理論や技術の習得と合わせて、自己の課題や目標設定を明確にして、自ら学ぶ力を養います。

短期大学士(生活科学)、短期大学士(食物栄養学)

2. こども教育学科

【こども教育専攻】

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神のもと、「保育者としてこどもの心身を理解し、素直でやさしい人間性豊かな気持ちでこどもを受け入れることができること」・「保護者と共にこどもの健やかな成長を見守っていけること」を踏まえてこどもの育成に貢献できるだけの人間性と能力、責任感を身につけ、社会で信頼され、役立つ保育者として成長し続けていくことに努力を惜しまない人物に、学位を授与します。

短期大学士(こども教育学)

3. ライフケア学科

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神に則り、社会に貢献するため、すなわち全人的に人間をケアすべく高度な専門的知識と高い技術能力を持ち、倫理観もそなえた医療従事者に成る人材に学位を授与します。

短期大学士(保健衛生学)

【柔道整復専攻】【柔道整復専攻(二部)】

人間性豊かで信頼される医療技術者として、国民の健康度向上を支援できる人材を養成することを目的とし、自己の健康、家族の健康、地域社会の健康に対して臨機応変にその専門的能力や技能が発揮されると認められた者に学位を授与します。

【臨床検査専攻】

専門職としての知識や技術の習得について所定の単位を修め、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- ①臨床検査技師国家資格を取得できる学力を有する者。
- ②チーム医療を理解し、その中で自らの知識や技術を発揮できる能力を有する者。
- ③高い倫理観と豊かな人間性を有し、人々の豊かな生活を健康面からサポートすることで社会に貢献できる者。

4. こども教育学科 通信教育課程

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神のもと、「保育者としてこどもの心身を理解し、素直でやさしい人間性豊かな気持ちでこどもを受け入れることができること」・「保護者と共にこどもの健やかな成長を見守っていけること」を踏まえてこどもの育成に貢献できるだけの人間性と能力、責任感を身につけ、社会で信頼され、役立つ保育者として成長し続けていくことに努力を惜しまない人物に、学位を授与します。

短期大学士(こども教育学)

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：学生便覧 帝京短期大学 HP
http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/c-policy.pdf)

（概要）カリキュラムポリシー

1. 生活科学科

将来社会人として自立した生活を送ることができるように、それぞれのコースの中に演習の時間を設定し、各教科や実習に関して十分な成果を上げることができるようにしています。特に、それらの単位を卒業要件や資格取得要件とし、実学を重視した学びの機会としています。

【生活科学専攻】

生活文化コースでは、一般企業、家庭、地域社会での高いキャリア性を身につけるために1年次からキャリア教育を充実したカリキュラム編成を行っています。その3本柱は①社会性の基本から応用への軌道としてのプレゼンテーション実習②社会性の体験としてのインターンシップ③社会的活動としての地域貢献プログラムです。

養護教諭コースでは、教員としての資質能力を養うとともに、今日的な子どもたちの健康課題に対応できる科学的な知識と技能に合わせて現場で実践できるように実践的な内容を充実したカリキュラム編成を行っています。特に演習では、1日教育参加として1年次の早期に学校現場での実習、野外教育実習などを取り入れたり、現場の教師による講演なども取り入れ、養護教諭として大切なことは何かを学ぶ機会としています。また、養護教諭の職務に関する科目、学校保健・看護学・統計学など基礎的な科目を増やし教育内容の充実を図っています。

【食物栄養専攻】

食物栄養専攻では、現場で活躍できる栄養士の養成を目的としています。開講科目では、講義科目に加えて実習を重視しています。特に給食の運営に必要な能力を養うため、給食管理実習(校内)・(校外)のカリキュラムを設定しています。また、中学校家庭科教諭と栄養教諭の教職課程を設置し、教職専門科目及び教科専門科目において充実した科目を設定しています。

2. こども教育学科

【こども教育専攻】

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神のもと、保育者としての人間性及び指導力、コミュニケーション能力を修得するため、保育の基本、教育との関連、教育の基礎的概念、保育と養護、小児の心身の健康、心身の健康の増進と保持、衣・食・住・環境と健康、発育成長、親子の関係作り、親育ち、豊かな感性・表現力、こどもの文化等をカリキュラムに沿って実践を交えながら学習します。

こどもと触れ合う機会の殆どない学生のために、同じキャンパス内にある幼稚園で時間の許す限り、こども、保護者、先生方と接し、実際の保育の現場の観察ができるインターンシップの制度があります。また、授業の一環として実習の事前・事後指導、幼稚園、保育園における一日教育参加、野外環境と保育の関係を学び研究をすることを目的とする野外学習を実施しています。

3. ライフケア学科

基礎医学のみならず、社会のニーズに合った最新医学の知識を学び、自己研鑽に努めて社会貢献できる医療従事者の養成を視野に入れたカリキュラムの編成に努めています。以下に各専攻の目標を記します。

【柔道整復専攻】【柔道整復専攻(二部)】

柔道整復専攻の教育目的を達成するために、以下のような方針に基づいてカリキュラムの編成・実施を行っています。

- ①人体の機能と構造に関することを学ぶことによって将来、その能力を幅広く活かせる基礎を作ります。
- ②身体に起こりうる疾病と傷害について知識を養い実践能力を発揮する基礎を作ります。

- ③ ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

【臨床検査専攻】

高度化・複雑化する医療にともない、さまざまな医療職が連携して行なう「チーム医療」の一員として専門性を発揮できる臨床検査技師を目指したカリキュラム編成を行っています。

- ① 国家試験受験資格を得るための指定規則に準拠し、1年次は基礎科目及び専門基礎科目を、2年次では専門科目と学内実習を、3年次は3ヶ月の臨地実習と国家試験対策総合演習を履修します。
- ② ①の学習を通して専門的な知識や技術を身につけるとともに、医療に携わる者として必要な倫理観や豊かな人間性、コミュニケーション能力なども育成します。
- ③ 即戦力となる臨床検査技師を目指し、実践的教育を重視したカリキュラム編成をしています。

4. 専攻科 臨床工学専攻

現代医療は、チーム医療と呼ばれ一人の患者に対して複数の医療専門職が連携して治療やケアに当たる形態となっています。このような背景から医療スタッフには各専門領域を基本としつつもチームとして行動できる高度な能力を有する医療技術者の必要性が提起されています。そこで、本専攻は、さまざまなバックグラウンドを有して入学してくる学生に対し、現代の高度医療に必要な知識を身につけると同時にチーム医療を支える臨床工学技士を育成するカリキュラムを編成し、実施しています。

5. 専攻科 養護教諭専攻

健康に関する高度の知識と技能及び養護教諭としての確かな実践力がつくように、専門科目の充実、演習や実習指導を通したきめ細かな指導、公立学校での教育実習、病院における臨床実習の充実を図ります。特に、実習においては養護教諭二種免許取得時の実習を踏まえた上で、より実践的な実習ができるようにします。

また、1年次から担任制による個別の研究指導を行い、養護教諭としての資質や専門性を高め、学士としてふさわしい実力をもった養護教諭の養成ができるようなカリキュラム編成をしています。

6. こども教育学科 通信教育課程

「礼儀、努力、誠実」という建学の精神のもと、保育者としての人間性及び指導力、コミュニケーション能力を修得するため、保育の基本、教育との関連、教育の基礎的概念、保育と養護、小児の心身の健康、心身の健康の増進と保持、衣・食・住・環境と健康、発育成長、親子の関係作り、親育ち、豊かな感性・表現力、こどもの文化等をカリキュラムに沿って実践を交えながら学習します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：入学試験要項 京短期大学 HP

http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/a-policy.pdf)

(概要) アドミッションポリシー

帝京短期大学 アドミッションポリシー

本学の建学の精神は、豊かな良識ある円満な人格を備えるために、「礼儀・努力・誠実」としています。教育は充実した環境のなかで、実学を重視した実践的指導と自分の意志で行動でき、人に優しい配慮のできる豊かな人格を形成します。そのために本学では、建学の精神を尊重し、(1)コミュニケーション能力の大切さを理解し、協調できる人物(2)専門性を修得することに対し、常に積極的に学ぶ意欲を有している人物を多くの入試機会を通して求めています。

1. 生活科学科

高等教育を受けるに相応しい学力と、自ら積極的に学ぶ態度をもっている人材を求めています。

【生活科学専攻】

生活文化コースでは、良き社会人として成長しようとする意欲の高い学生を求めています。建学の精神を尊重し、生活文化コースのカリキュラムを理解し一生懸命学びに取り組む姿勢を有する人材を求めています。

養護教諭コースでは、建学の精神である礼儀をわきまえ、努力を惜しまず、誠実に人や事にあたる人物であることはもとより、養護教諭という職種を踏まえ、学校現場においてまず一番に人命を尊重し、組織の中で和を持って適切なコミュニケーションがとれ、常に向上心を持って常に研鑽を積み、教育者になるということに自覚を持って学ぶ意欲と熱意のある人材を求めています。

【食物栄養専攻】

食物栄養専攻では、栄養士の資格を取得し、栄養士として従事する能力を修得するための教育を行っています。健康と栄養を勉強することに意欲を持ち、将来、栄養士(病院、学校、幼稚園、高齢者施設、事業所)を目指す人材を求めています。

2. こども教育学科

【こども教育専攻】

保育者を目指す第一条件は、こどもが大好きということです。しかし、保育者としては、こどもが好きでこどもと遊んでいるだけではなく、その遊びを通して保育者の人間性、コミュニケーション能力、こどもへの気配りがこどもの心と体の成長に大きく影響を与えます。こどもの健やかな成長に寄与できる実力を身につけ、自分の生活管理をしっかりすることに努力を惜しまない人材を求めています。

3. ライフケア学科

論理的思考力と的確な判断能力を併せ持ち、医療技術者となるべく学習意欲の高い人材を求めています。

【柔道整復専攻】【柔道整復専攻(二部)】

柔道整復専攻の教育目的を達成するために、以下のような条件を有する人材を求めています。

- ①柔道整復師になるという強い意欲と決意をもっている者。
- ②生涯学習・保健医療を学ぶ基礎学力を有する者。
- ③ひとの喜びを自分の喜びとして受け入れることに取り組む人間性を身につける意欲を備えている者。

【臨床検査専攻】

医学検査のスペシャリストである臨床検査技師の育成のため次のような人材を求めています。

- ①進化する医療の知識や技術を習得しようとする積極的な意欲とそのための基礎学力を有する者。
- ②広い視野を持ち、誠実で責任感が強く問題解決のための努力を惜しまない者。
- ③医療技術の発展に貢献することを目指し、人に対する思いやりや協調性、円滑なコミュニケーション能力を有する者。

4. 専攻科 臨床工学専攻

本専攻では、現代の医療に不可欠な医療機器のスペシャリストである臨床工学技士として、医療において、医工学を駆使し増大する医療機器の安全性確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献する意識をしっかり持っている次のような人材を求めています。

- ①医療人として必要な専門領域の知識とスキルを獲得する者。
- ②医療に対し積極的で行動力と責任感がある者。
- ③他者の意見に耳を傾けることができる者。

④臨床工学技士資格を取得し、医療現場(病院)や医療産業・研究機関で活躍したい者。

5. 専攻科 養護教諭専攻

「礼儀、努力、誠実」という本学の建学の精神のもとに、高い専門性と実践力のある養護教諭を養成します。

現代社会における子どもたちの心身の健康づくりは社会的な課題でもあり、その中核となる養護教諭に対する学校や社会の期待は高まっています。社会人としての自立した人格を基礎に、学校保健の専門家として子どもたちの健康課題を的確につかみ、その課題解決のために実践的に仕事ができる力をつけることを目指します。子どもたちにしっかり向き合える養護教諭として意欲的に学ぶ学生を求めています。

6. こども教育学科 通信教育課程

保育者を目指す第一条件は、こどもが大好きということです。しかし、保育者としては、こどもが好きで こどもと遊んでいるだけではなく、その遊びを通して保育者の人間性、コミュニケーション能力、こどもへの気配りがこどもの心と体の成長に大きく影響を与えます。こどもの健やかな成長に寄与できる実力を身につけ、自分の生活管理をしっかりすることに努力を惜しまない人材を求めています。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：帝京短期大学 HP <http://www.teikyo-jc.ac.jp/jyoho>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
生活科学科	—	9人	4	3	0人	0人	16人
こども教育学科	—	5人	2人	4人	2人	0人	13人
ライフケア学科	—	6人	5人	9人	9人	0人	29人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
—人			75人				75人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/school/teacher					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
教育の質の向上・改善』を目的として毎月1回委員会を開催し、年に1回教員が共有すべき情報をテーマに取り上げ、全教員を対象に教員研修会を開催しています。FD関連の外部研修にも積極的に参加し情報収集を行い学内に還元しています。また、他の教員の授業方法を参考にするため、前期・後期に各2週間、全専任教員の授業を公開しています。教員は自由に受講し、公開者に意見や感想をフィードバックし授業改善に繋げています。この他に、短大基準協会の短大生調査を毎年実施し調査結果を各専攻で分析の上、教育内容、学生支援に反映させています。また、教育の改善に関する報告書として教育研究報告集を隔年で発刊しています。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
生活科学科	170人	116人	68.2%	340人	254人	74.7%	0人	0人
こども教育学科	50人	35人	70.0%	100人	88人	88.0%	0人	0人
ライフケア学科	140人	80人	57.1%	420人	261人	62.1%	0人	0人
ライフケア学科(二部)	30人	6人	20.0%	90人	31人	34.4%	0人	0人
専攻科	55人	32人	58.2%	70人	39人	55.7%	0人	0人
小計	445人	269人	60.4%	1,020人	673人	66.0%	0人	0人
こども教育学科 通信教育課程	200人	14人	7.0%	700人	86人	12.3%	50人	2人
合計	645人	283人	43.9%	1,720人	759人	44.1%	50人	2人
(備考) こども教育学科通信教育課程の収容定員は編入学定員含む。編入学者数2人。								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
生活科学科	139人 (100%)	14人 (10.1%)	111人 (79.8%)	14人 (10.1%)
こども教育学科	44人 (100%)	32人 (72.7%)	7人 (15.9%)	5人 (11.4%)
ライフケア学科	67人 (100%)	8人 (11.9%)	53人 (79.1%)	6人 (9.0%)
ライフケア学科 (二部)	5人 (100%)	0人 (0.0%)	5人 (100%)	0人 (0.0%)
専攻科	48人 (100%)	0人 (0%)	40人 (83.3%)	8人 (16.7%)
合計	303人 (100%)	54人 (17.8%)	216人 (71.3%)	33人 (10.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考) こども教育学科通信教育課程 卒業生 18名				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
・授業計画書(シラバス)の作成は、毎年11月頃に作成を依頼している。科目担当教員作成後、専攻・コースの専任教員および事務担当の第三者チェックを全学科で実施。3月に通学課程はWEBシラバス、通信課程は講義要項として完成。4月にWEBポータルサイトとホームページにて公表し、通信課程はさらに配付も行っている。
シラバスの記載内容としては、授業形態、授業計画、授業の概要、担当教員の実務経験と当該授業との関連、授業の目的、到達目標、準備学習(予習・復習)、成績評価の方法・基準を明記し、学生の履修登録、授業履修計画、授業の予習・復習等に活用できるように、具体的かつ明確に記載している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>・授業科目の単位は、学則及び履修規程に基づき、学修成果を厳格かつ適正に評価し、認定している。</p> <p>(通学課程)</p> <p>成績評価の基準は、全学的に統一した基準としている。具体的な成績評価の方法は、「筆記試験、実技試験、レポート、口述試験、学習成果物」の併用（履修規程第14条）に基づき、各授業科目担当者がシラバスに具体的に記載している。</p> <p>(通信課程)</p> <p>シラバス等にあらかじめ示された、当該科目の評価方法によって評価する。（通信教育課程履修規定第14条）</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
生活科学科	生活科学専攻 生活文化コース	62 単位	(有) 無	49 単位
	生活科学専攻 養護教諭コース	62 単位	(有) 無	49 単位
	食物栄養専攻	64 単位	(有) 無	49 単位
こども教育学科	こども教育専攻	62 単位	(有) 無	49 単位
ライフケア学科	臨床検査専攻	99 単位	(有) 無	49 単位
	柔道整復専攻	100 単位	(有) 無	49 単位
	柔道整復専攻 (二部)	100 単位	(有) 無	49 単位
専攻科	臨床工学専攻	79 単位	(有) 無	単位
	養護教諭専攻	68 単位	(有) 無	単位
こども教育学科	こども教育専攻 通信教育課程	93 単位	(有) 無	40 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：帝京短期大学 HP http://www.teikyo-jc.ac.jp/app/wp-content/themes/teikyo-jc.ac.jp_app-ver.1/_pdf/jyoho/j15.pdf
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
生活科学科	生活科学専攻	790,000 円	250,000 円	171,080 円	施設拡充費、実験実習費等
	食物栄養専攻	790,000 円	250,000 円	171,080 円	施設拡充費、実験実習費等
こども教育学科	こども教育専攻	790,000 円	250,000 円	171,080 円	施設拡充費、実験実習費等
ライフケア学科	臨床検査専攻	790,000 円	250,000 円	322,650 円	施設拡充費、実験実習費等
	柔道整復専攻	830,000 円	250,000 円	172,600 円	施設拡充費、実験実習費等
	柔道整復専攻(二部)	830,000 円	250,000 円	171,350 円	施設拡充費、実験実習費等

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

学びの組織的な支援

・担任制

本学は担任制をとっており、学生一人ひとりに担任教員が決まっています。担任教員は、学生生活を送る上で生じたいろいろな悩みや学業、進路のことなどの相談に応じています。全学的に担任面接を行っており、必ず全員の学生が担任面接を受けています。勉強の仕方や成績のこと、進路のことや学校の制度で分からないこと、その他生活上の困ったことなどの相談に応じています。

・オフィスアワー

教員はオフィスアワーを設定し研究室を開放的にすることで学生が相談しやすい環境作りを行っています。学生は、このオフィスアワーを通じて教員とのコミュニケーションを深め、学習や進路のこと、また、学生生活全般についていつでも相談することができます。

・少人数教育

本学では一人ひとりの個性や能力に合わせた、きめ細やかな教育を実践するために「少人数制」を基本にしています。教員と学生の距離が近く、一人ひとりの声を聞いて各々が学習成果を上げられるよう指導に努めています。

学生からの相談を受け、解決の難しい内容については、各専攻のワーク会議で検討し全学的なものには教務委員会で検討していく体制をとっています。

中途退学防止

全学科担任制を導入し、入学時から卒業まで、個人面談やオフィスアワーにより、履修やその他相談を随時受け付ける体制をとることで中途退学防止に努めています。また、保護者との面談も、要望があれば、随時受け付ける体制を設けています。経済的支援を要する学生に対しては、担任、事務担当部署が親身に相談に対応しています。また、学費支援制度を設けています。入学手続き者が入学後の学習にスムーズに取り組めるよう入学前教育も行っています。

入学前教育

入学後スムーズに学習に入れるよう、入学前教育を実施しています。専攻により内容は異なりますが、本学から課題を送りレポート等の提出物を求める自宅学習が中心です。

臨床検査専攻では、2014年度入学生より入学前スクーリングを行っています。

資格取得

それぞれ目指す進路が異なっても優れた社会人としての知識・技術・人格を修得するための教養教育と資格取得を目指す職業教育を行っています。各学科専攻において、資格取得に対する専門的知識の習得を目的に、専任・非常勤教員がその専門性・機能を活かして個々の学生の指導にあたっています。頻度の高い実習を通じて職業教育の実施体制は確立されており、学生は専門職としての能力、意識を高めています。また、企業での就業体験ができるインターンシップ制度の導入、資格取得を支援するステップアップ講座の開講などキャリア教育を実現するための取り組みを行っています。

経済的支援

学生への学内独自の経済的支援として、学業・人物ともに優秀な学生に対する特別奨学金制度、経済的に支援を要しかつ学業に取り組む姿勢に秀でた学生に対する冲永学園奨学金制度、柔道整復師の後継者養成支援制度、親族に本学の卒業生・在学生がいる学生に対する入学金支援制度を設けています。2017年度入試から、本学が定める基準点以上の成績の入学者に対して奨学特待生制度を設けています。また、民間金融機関との教育ローン提携等学生の必要性に応じて対応できる体制を整えています。経済支援を要する学生に対しては、例年きめ細かな対応、指導を行っています。留年、休学した学生に対しても授業料減免制度を設けています。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

就職支援

就職支援はキャリアサポートセンターが中心となって行っています。教職員間で学生の就職活動状況、企業動向等情報を常に共有し、学生への個別指導・支援を行っています。また、就職対策委員会を毎月開催し、学生指導の密度を上げています。

キャリアサポートセンターの主な就職支援は下記の通りです。

- ・学生が自分自身のキャリアプランを考えられるよう、生活科学科、こども教育学科では「社会人入門セミナー」を必修科目とし、この授業で高まった「職業人になる心構え」を引き継ぐ形で翌年度前期に毎週「キャリアガイダンス」を実施しています、また、ライフケア学科臨床検査専攻では「キャリアデザインⅠ」、「同Ⅱ」を実施しています。
- ・求人情報の中から業種、職種、勤務地など希望条件に合わせて、インターネットで企業検索ができるキャリアナビを導入しています。
- ・面接練習、履歴書添削、個人面接等就職に必要な不可欠な指導の他、ステップアップ講座として公務員試験対策講座、教員採用試験対策講座等就職に役立つ講座を開いています。
- ・学生支援室ではパソコンを多数備えている他、求人情報、企業情報や先輩の就職活動報告書等の資料が閲覧できます。
- ・在学生・卒業生に対し、株式会社東京海上日動キャリアサービス、新卒応援ハローワークと提携し就職支援を行っています。

インターンシップ

生活科学科生活科学専攻生活文化コースでは、1年次の授業に職業選択の際の道標となる役割を持つインターンシップを導入しています。1年次の講義は、春休み期間に設定されているインターンシップに向けて集約されています。講義を通して、主体性、独立性、積極性を身につけ、社会に求められる「人間力・社会性」を育てます。自分のキャリアルートを創り、インターンシップ先を自分自身で決め、卒業時の進路を明確にすることを目的としています。

進学支援

帝京大学グループを中心に他大学と提携を結び、「まだまだ勉強したい」「更にほかの資格もめざしたい」、そのような思いを抱く学生の希望にも強く応えています。キャリアサポートセンターでは、編入説明会を開催するほか、各大学、専門学校のパンフレット、各種情報誌などを学生支援室に取り揃え、担当教員と連携をとりながら進学を希望する学生を支援しています。また、進学希望者には、個別に志望理由書、論作文の添削、面接指導等も行っています。

卒業生・就職先アンケート

卒業生全体に対する調査はキャリアサポートセンターが担当しています。2020年に実施した卒業生に対するアンケート（2014年度から2016年度の卒業生1,110名及び就職先約500社）は、卒業生に対しては卒業生が職場で求められる能力や就職活動で利用したもので役立ったもの等をアンケートし、就職先に対しては本学卒業生が身につけていた能力、本学卒業生採用後の満足度、今後の採用、学生時代に身につけておいてほしい能力、資質等をアンケートしました。キャリアサポートセンターはアンケート結果を分析の上、教職員にフィードバックするとともに、社会人入門セミナー、キャリアガイダンス、キャリア関連の授業等に活用しています。2020年に、2017年度の卒業生並びに就職先に対して同様のアンケートを実施しました。今後も毎年実施する予定です。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

学生の心身の健康等に係る支援

本学では、大学や短期大学では珍しい保健室が設置されベテランの養護教諭が配置されています。保健室の学生利用率は高く、心身の健康問題に限らず、学力の問題や経済的な問題まで相談されることが多く、個々の学生への丁寧な対応と合わせて、多様な連携をとりながら対応しています。特に担任制をとっている本学では、保健室と担任との連携が日常的に行われ、学生に必要な支援ができるだけ早く、適切にできるように対応しています。2015年度からは、帝京平成大学臨床心理センターの利用が可能になり、カウンセリングなどの専門的な支援が受けられるようになりました。もう一つは、各専攻・コースや事務職員の代表で構成される学生相談支援委員会が設置され、学生の支援対策と合わせて、教職員の学生対応力を高めるための研修も重視しています。

学生アンケートの活用

学生が自由に意見を出せることができる学生意見箱を学内3箇所に設置しています。これらで学生から寄せられた意見や要望に対しては、教学的な内容のものは各学科専攻にて、学生生活に関わるものについては各委員会、キャリアサポートセンター等で対応を検討し改善に努めています。学生相談支援委員会では、学生アンケートの結果を生かして「健康相談と合わせた健康教育の充実」「コースごとの特徴に合わせた新たな学習支援対策」「ブラックバイトへの対応や予防対策」などを進めています。2015年度以降毎年度全在生に対して一般財団法人大学・短期大学基準協会による「短大生調査」を実施しています。本調査は、本学を選択した理由、学習時間、進路、学校への満足度他学生生活全般に係わる広範囲な内容になっています。本学での調査結果を全国の短大の平均値と比較し数値の乖離幅が大きい特徴的な項目を抽出の上、教務委員会、FD委員会、自己点検・評価委員会、各事務局で情報を共有し学生指導に役立てています。

クラブ活動

クラブ活動としては、現在は、バレーボール同好会、バスケットボール同好会、フットサル同好会が活動しています。東京都私立短期大学協会体育大会、日本私立短期大学協会体育大会等に参加しています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：帝京短期大学 HP <http://www.teikyo-jc.ac.jp/jyoho>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F213310104339
学校名	帝京短期大学
設置者名	学校法人 沖永学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		67人	61人	128人
内 訳	第Ⅰ区分	39人	39人	
	第Ⅱ区分	20人	17人	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				128人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-	0人	-
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	-	-	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	-	-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
年間	0人	前半期	-
		後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	0人	0人	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。